

PortのユーザAPIの軽微な改良

2009/01/10 19:32 - n-ando

ステータス:	終了	開始日:	2009/01/10
優先度:	通常	期日:	
担当者:	kurihara	進捗率:	100%
カテゴリ:		予定工数:	0.00時間
対象バージョン:			
説明			
Port関連のユーザに公開するAPIに関して以下の改良を行うこと。			
<ul style="list-style-type: none"> • RTOObject <ul style="list-style-type: none"> ◦ ポートのインスタンスで削除する関数の追加 ◦ データポートを一気にread/writeする関数 ◦ 上記の関数をデフォルトで呼ぶように設定する関数 • Port <ul style="list-style-type: none"> ◦ Connectionをより容易に取得する関数 ◦ connect/disconnect 時のコールバック 			
関連するチケット:			
関連している OpenRTM-aist (Java) - 機能 #1285: PortのユーザAPIの軽微な改良	終了	2010/03/01	
関連している OpenRTM-aist (Python) - 機能 #1350: データポートに関する機能拡張	終了	2010/03/26	

履歴

#1 - 2010/01/12 11:51 - n-ando

- ステータスを新規から担当に変更

- 担当者をn-andoからkuriharaに変更

- RTOObject
 - ポートのインスタンスで削除する関数の追加
 - bool RTOObject::removeInPort(InPortBase*)
 - bool RTOObject::removeOutPort(OutPortBase*)
 - bool RTOObject::removePort(PortBase*)
 - register*() -> add*()に変更、register*は残す(PortAdmin(add, remove), RTOObject)
 - rtc-template を変更
 - データポートを一気にread/writeする関数
 - bool RTOObject::readAll()
 - bool RTOObject::writeAll()
- 上記の関数をデフォルトで呼ぶように設定する関数
- Connectorをより容易に取得する関数 (済み)
- connect/disconnect 時のコールバック (済み)

#2 - 2010/01/14 15:08 - kurihara

RTOObjectのadd*Port()にて、登録しようとしているポート名が既に登録済みのポートと同じ場合は、登録せずにfalseを返す。(2010/01/12のミーティングでの決定事項)

#3 - 2010/01/15 09:34 - kurihara

- 進捗率を0から50に変更

#4 - 2010/01/20 14:15 - kurihara

- ステータスを担当から解決に変更

- 進捗率を50から100に変更

下記のメソッドを追加し、SimpleIO,SeqIOにて動作確認済み。(最終リビジョン1707)

```
bool RTOObject_impl::readAll()
bool RTOObject_impl::writeAll()
```

```
void RTOject_impl::setReadAll(bool read=true, bool completion=false);
void RTOject_impl::setWriteAll(bool write=true, bool completion=false);
completionオプションは、readAll()の際、どれか一つのポートのread()またはwrite()にて
エラーが発生した場合に、続けて他のポートのread()またはwrite()を行うか、それとも
エラーが発生した時点でリターンするかを指定するためのオプション。
completionがtrueの場合は、エラーの有無に係わらず全てのポートに対してread()または
write()をコールする。
falseの場合は、エラーが発生した時点でリターンするため、エラーが発生したポートの他
にRTCが保持するポートが存在する場合、それらのポートに対するread()またはwrite()
呼出は行われぬ。
```

また、InPortBase,OutPortBase,InPort.hに下記の追加と変更を行った。

```
InPortBase: 下記を追加
virtual bool read() =0;
```

```
OutPortBase: 下記を追加
virtual bool write() =0;
```

```
InPort: 下記を変更
DataType read(); ---> bool read();
```

#5 - 2010/01/25 21:31 - kurihara

- ステータスを解決からフィードバックに変更

- 進捗率を100から80に変更

readAll(),writeAll()での処理を見直す。

現在の実装では、readAll(),writeAll()での処理時間がかかりすぎてしまうため、onExecute()での処理に影響を及ぼす。

RTOjectでInPortBase,OutPortBaseを管理するように変更する必要あり。

#6 - 2010/02/03 10:09 - kurihara

- ステータスをフィードバックから解決に変更

- 進捗率を80から100に変更

RTOjectでInPortBase,OutPortBaseを管理するように変更。(リビジョン1795)

#7 - 2010/02/17 18:10 - n-ando

- ステータスを解決から終了に変更

#8 - 2010/03/04 10:36 - 匿名ユーザー

関連リビジョン:([r1707](#))([r1795](#))